

# 第46回熱シンポジウム 新しい時代の熱環境デザイン ～測定とシミュレーションによる設計・評価～

異常気象や世界規模で拡大する気候変動、東日本大震災以降のエネルギー転換、省エネルギー基準の適合義務化など、建築・都市の熱環境を取り巻く環境は変化してきている。4年後の2020年、56年ぶりに東京で開催されるオリンピックを前に、新しい時代の熱環境の在り方について、設計法、測定法、評価法の側面から伝熱小委員会及び熱環境シミュレーション小委員会の取り組みを紹介する。参加者とともに、新しい時代の熱環境デザインについて議論する場としたい。

開催日時:2016年10月22日(土)13:00～17:30

10月23日(日) 9:00～16:00

開催場所:岡山理科大学 理大ホール(岡山市北区理大町1-1 25号館 8階)

【1日目:10月22日(土)]12:30 開場、13:00 開始

特別セッション「中国地方から発信する熱環境への取り組み」

- ・田中文裕(特定非営利活動法人 里海づくり研究会 理事・事務局長)
- ・新谷俊典(真庭市役所 真庭市産業観光部 林業・バイオマス産業課)

セッション1:「暑熱環境への適応」

- ・鳴海大典(横浜国立大学)・西岡真稔(大阪市立大学)・中大窪千晶(佐賀大学)・安藤邦明(竹中工務店)

セッション2:「各地域の先進的事例から見た熱環境設計」

- ・細淵勇人(秋田県立大学)・菊田弘輝(北海道大学)・水出喜太郎(白建設)・一ノ瀬雅之(首都大学東京)

【2日目:10月23日(日)]8:30 開場、9:00 開始

セッション3:「熱性能の現場測定法の現状」

- ・長井達夫(東京理科大学)・森 太郎(北海道大学)・長谷川兼一(秋田県立大学)・奥山博康(神奈川大学)

セッション4:「建材の熱性能に関する評価手法の現状」

- ・佐藤友紀(大建工業)・高田和規(エクセルシャノン)・齊藤孝一郎(YKK AP)・木下泰斗(日本板硝子)

セッション5:「CFD を活用した熱環境解析」

- ・武田 仁(東京理科大学)・永田明寛(首都大学東京)・李 時桓(信州大学)・倉淵 隆(東京理科大学)・小野浩己(電力中央研究所)

主催:日本建築学会 環境工学委員会 熱環境運営委員会(伝熱小委員会・熱環境シミュレーション小委員会)

参加費 会員6,000円、会員外8,000円、学生2,000円(資料代含む、当日会場でお支払い下さい)

申し込み方法 Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1523>

申込方法/問合せ 日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬 E-mail: [ichinose@aij.or.jp](mailto:ichinose@aij.or.jp) TEL:03-3456-2051